

## 第3回函館西部まちぐらし共創サロン

(株)はこだて西部まちづくRe-Design(HWeR)  
会社概要・事業概要のご紹介

2022年11月18日

(株)はこだて西部まちづくRe-Design(はこだてせいぶまちづくりでざいん、通常HWeR/エイチウィーアール)は、

- **函館市西部地区の再整備事業を推進**していくために、
- 函館市及び地元企業 9 社と、政府系ファンドである「地域経済活性化支援機構」が運営する「観光遺産産業化ファンド」が出資して設立された、
- **函館市西部地区のまちづくりを主体となって進めていく会社**です。

# 会社概要①

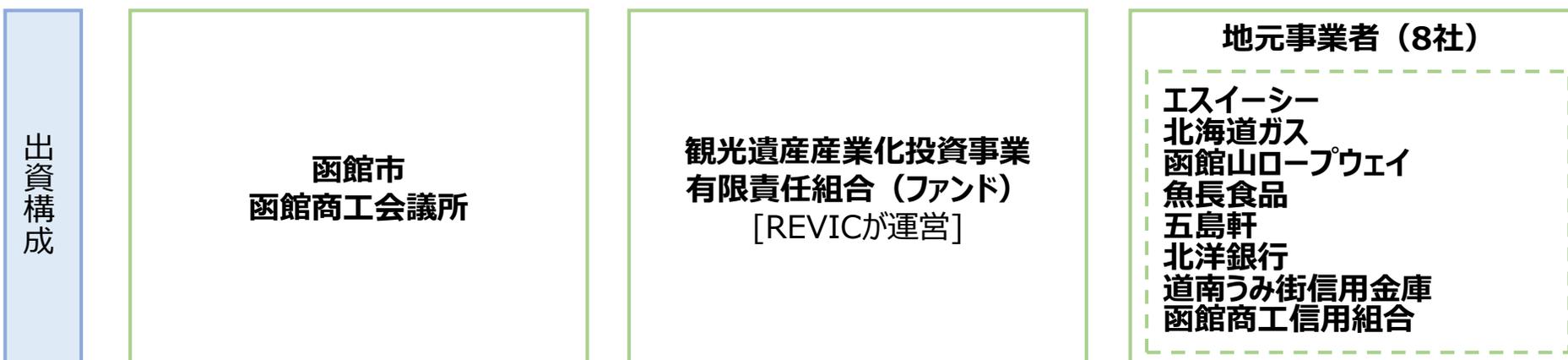


項目	内容
商号	株式会社はこだて西部まちづくRe-Design 通称：HWeR
本店住所	北海道函館市元町14-1 国際交流施設1F
設立日	令和3年7月29日 設立
事業内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1 函館市西部地区でのまちづくり活動及びまちづくり活動を行う者との連携，調整等に関する業務</li><li>2 不動産の売買，賃貸借，仲介及び管理業務</li><li>3 土地及び建物の有効利用に関する企画，調査，研究，設計及びコンサルティングに関する業務</li><li>4 公共施設等の管理運営の受託に関する業務</li><li>5 駐車場の管理運営業務</li><li>6 地域の利便性の維持・向上・生活支援サービス等の提供に関する業務</li><li>7 共同店舗及び集合店舗等の企画，整備及び運営に関する業務</li><li>8 各種イベントの企画，立案，制作及びその受託に関する業務</li><li>9 広告・宣伝に関する企画及び制作に関する業務</li><li>10 書籍，印刷物の企画，制作，出版及び販売業務</li><li>11 函館市西部地区の活性化に関する業務</li><li>12 前各号に附帯または関連する一切の業務</li></ol>
資本金	5,000万円
事業年度	4月1日から3月31日

# 会社概要②



役員構成	役職		
	代表取締役	北山 拓	株式会社地域経済活性化支援機構
	取締役	谷口 諭	函館市 副市長
	取締役	酒井 幸次	函館商工会議所 専務理事
	取締役	佐藤 達夫	株式会社地域経済活性化支援機構
	監査役	米田 和志	株式会社北洋銀行函館中央支店 常務執行役員支店長
	監査役	田中 浩基	道南うみ街信用金庫函館中央営業部 営業部長



# HWeRのビジョン・ミッション



## ビジョン

函館西部地区から、未来を創る  
(未来志向のまちづくり)

## ミッション

- ① 函館西部地区での暮らしや営みを大切に、ここにしかない歴史や文化を活かしたまちづくりを推進します  
(今の西部地区を活かした、不動産再整備・まちづくり事業の推進)
- ② 函館西部地区内外の人々との共創を通じ、地域課題を解決する事業に取り組み、未来に向けた新たなまちの価値をデザインします  
(地元住民の方々と共に、地域課題を解決するための新規事業に挑戦)
- ③ 志ある人の想いに共感し、挑戦する機会を創出します  
(地域の未来へ想いを持って挑戦する方をヒト・モノ・カネ・ノウハウの様々な面でご支援)

# HWeRの事業概要



- 函館西部地区エリア低未利用不動産の利活用事業と併せ、まちづくり支援事業、西部地区発信事業、地域若手起業支援事業といったソフト事業を合わせて行いながら、西部地区の魅力・価値向上を進め、面的活性化を推進してまいります

## はこだて西部まちづくRe-Design(HWeR)

エリア不動産  
利活用事業

### 公有不動産再整備事業

旧北海道庁函館支庁庁舎の再整備を皮切りに、低未利用となっている行政財産、公有不動産等について地域のランドマークとなるような利活用に向けた、再整備を実施。

### 民有不動産再整備事業

物件所有者の高齢化等で承継ニーズが顕在化している、民有不動産(伝統的建造物及び景観指定建築物等)を収用し、地域のニーズに合わせた収益不動産への再整備を実施。

### 重点整備街区再整備事業

長屋、未接道敷地、所有権等の問題で再整備ができない用地を収用し、一体の再整備用地としての前裁き等を実施。

まちづくり  
事業

### まちづくり支援事業

函館市が推進している、「共創のまちぐらしPJ」、「町会活性化PJ」等との連携による事業化、地域のニーズに合わせたまちづくり事業の事業化支援、クラウドファンディング等を活用したまちづくり支援など。

### 西部地区ブランディング・発信事業

西部地区のブランディング支援、観光・ワーケーション・移住/定住・地域コミュニティ活性化に向けたHPの作成、管理及びメディア作成等の広告・発信事業など。

### 地域若手起業支援事業

西部地区に定住し、生業を創りたいと考えている将来の担い手の起業支援、伴走支援など。

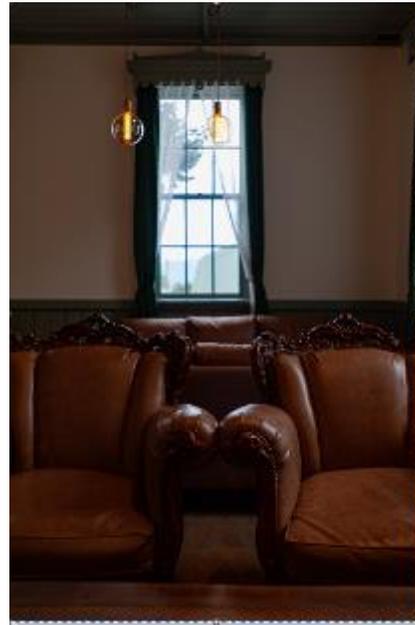
地域内外の皆様と連携させて頂きながら、「西部地区のまちづくり」を事業として進めています。

# 具体的な取組①：旧北海道庁函館支庁庁舎



- ・元町公園内の旧北海道庁函館支庁庁舎を函館市より使用許可を頂き、リニューアル工事を実施しました。
- ・西部地区発祥の「Jolly Jellyfish」様とタッグを組み、飲食店を軸としながら函館西部地区の歴史や元町公園景観を体感できる滞在施設としてリブランディングを実施しました。
- ・本年8月11日にリニューアルオープンしました。

<リニューアル後の様子>



# 具体的な取組②：旧加藤家住宅



- ・函館市大町にある、旧海産物商→一般住宅の「函館様式」と呼ばれる和洋折衷物件。
- ・地元オーナー様より当社宛に利活用ご相談を頂き、現在大手上場企業様のサテライトオフィス開発案件としてリニューアル工事を実施中です(来年4月の開所予定)。



項目	概要/現況
所在地	函館市大町8番21号
建築年	大正2年(築109年)
構造・階数	木造・地上2階建
敷地面積	191.10㎡
延べ面積 (長屋建て)	道路側 140.49㎡(1階82.64㎡、2階57.85㎡) 裏側 79.32㎡(1階39.66㎡、2階39.66㎡)
その他	函館市景観登録建築物候補物件

## 具体的な取組③：大町改良ひろば

- ・大町改良住宅に隣接する空地(市有地)。
- ・昨年度は利活用コンセプト設計に向け、①事業性やコンセプト設計の判断、②住民認知/ファンづくりを目的にイベント形式での利活用として、「ローカルマーケットin大町改良ひろば」を開催しました。
- ・先日11月6日に「おくのストリートの広場計画」として、当地の利活用方針を地域住民の皆様と考えるトークイベントを開催、地域の皆様との共創を通じた利活用PJとして推進させて頂いています。



# 具体的な取組④：アーティストインレジデンス事業



- ・ANAグループ及び地元事業者様とタッグを組み、函館西部地区の新しい発信の在り方として、「HAKODATE×ARTIST」を軸に、アーティスト向け滞在プログラムを設計。
- ・本年9月に西部地区内で滞在・地元との交流イベント等を実施、「函館西部地区」をテーマに創作を実施
- ・12月より函館西部地区を中心とした市内各地にて作品展示を予定しています。

＜9月に開催したトークイベント＞



## ＜プレスリリース＞

NEWS RELEASE



プレスリリース

2022年8月8日

ANAホールディングス株式会社  
株式会社はこだて西部まちづくRe-Design

アートをテーマに地域創生の新たなモデル構築を目指すプロジェクト、「ANA meets ART "COM"」今年も函館にて開催

- ANAホールディングスと、はこだて西部まちづくRe-Designは、北海道函館市で「ANA meets ART "COM"」と題したアートによる地域創生の新たなモデル構築を目的に実施するプロジェクトを実施します。
- 11月より開始する4名のアーティストを招き、函館独自の文化に触れ合いながら滞在創作を行います。12月には制作したアート作品の展示会を実施し発表予定です。
- 2023年度には、滞在期間中アーティストが体験した内容を、ローケーショントラックアートとして、函館駅周辺を走る有軌電車沿線に展開予定です。



## ＜特設HP＞



# 具体的な取組⑤：函館西部地区ニュース



- 西部地区の情報発信を目的に本年5月より「函館西部地区ニュース」を当社Youtubeチャンネル内で開始しました。
- オフィスK様と協力の上、函館西部地区の「ヒト」にスポットを当てながら、毎週様々なテーマで西部地区で取り組みを行う方々の様子をインタビュー・ニュース形式で紹介しています。
- 毎週土曜20時配信ですので、皆様ご視聴・チャンネル登録宜しくお願い致します。

## 函館西部地区ニュース

毎週土曜日 20時配信



函館西部地区のスポットを特撮を様々な角度から紹介する「函館西部地区ニュース」の放送を開始いたしました。

YouTubeチャンネル「藤本啓子のココロが『はこだてofhome』で広島の活動を発信しているアリアアランサー藤本啓子さん」と函館西部まちづくりデザイン室の協力を得、函館西部地区で活躍する「人」にフォーカスを図りながら、様々な活動やイベント、日々の風景等を発信しています。

本格的には毎週土曜日の午後8時に更新します。ぜひご視聴・チャンネル登録よろしくお願い致します。



<https://hwmn.com/>

YouTube チャンネル登録、よろしくお願いいたします。



## ● 地域課題を解決するようなまちづくり、を行うこと

- ・HWeR事業の考え方として、地域の未来を見据えた地域課題の解決になるか、という視点を最重要視しています。
- ・自社が儲かる、という事は事業継続をしていく為には必要ですが、HWeRは「利益の最大化」を第一目的で活動していません。
- ・西部地区の価値・魅力向上(何を以て「魅力」と考えるか、はいろいろな考えがあります)がHWeRが存続する第一目的です。

## ● 地域内外のパートナーと協業・連携した事業とすること

- ・HWeRはあくまで「西部地区のまちづくりを進めるための、官民連携した仕組み・ハコ」であり、HWeRだけで事業を進めることはできませんし、単独で進める意味がありません(公共事業と一緒にあります)。
- ・主役はあくまで地域内外の民間事業者の方々であり、HWeRと協業・連携頂くことで「何か新しいことができそう」、「行政との調整がうまく進みそう」、「事業のスピードが上がりそう」、「資金調達がうまく進みそう」など、官民連携した仕組みを使って頂いてまちづくりを進める、視点を大事にしています。

## ● 継続的な取組み、持続可能性な「事業」として継続できる仕組みであること

- ・どれだけ西部地区の為になって素晴らしい取り組みであっても、継続できなければ意味がありません。
- ・行政の補助が必要な分野はありますが、補助金だけに依存して継続している取り組みも、持続可能であるとは言えません。
- ・中長期的に持続可能な取組みを創る、その一つの答えが、官民連携した 株式会社としてのHWeRの取組みです。
- ・HWeRが進める事業では「事業」として継続する(≡儲かる)かどうか、という視点を重視しています。それはHWeRが持続可能か、という事だけでなく一緒に取組むパートナーの方々、地域の方々が継続して取組むことができるか、という事も非常に重要な視点です。

# 最後に・・・



HwjeR は、

- 函館西部地区を創ってきた先人、そして今ここに暮らす人々 (“H”uman)の想いを大切にしながら、
- 函館西部地区内外の皆様と共に (“We”)
- この町の新たな未来を再び創っていく (“R”e-Design)

事を目指します。

未来志向の西部地区のまちづくりを、皆様と一緒に進めていければと思っております。  
どうぞ宜しくお願い致します。